

A5

キャリアパスポートを用いた自己分析補助 web アプリケーション開発プロジェクト

~Web application development project for self-analysis assistance on "carrier passport"~

企画について

背景

- 1 GIGA のスクール構想における ICT 利用活用 → キャリアパスポート活用について明記
- 2 2020 年度より導入された新学習指導要領 → ICT を用いて教育データの保存による現状の分析, 振り返りを促進

背景

キャリアパスポートを電子化する事で GIGA スクール構想の促進が可能なのではないか？

目的・目標

- 教育効果の最大化 → GIGA スクール構想の促進
- 校務の業務負担の軽減 → ポジティブ・ネガティブ分析の作成

ICT を用いて教育データの保存による現状の分析, 振り返りを促進について

- ・ 振り返り, 分析を行う環境はキャリアパスポートを作成するだけで整ってしまう

→ 環境は整えられたが, 振り返り, 分析の業務を担うのは教員なのか？

校務の業務負担

- ICT 導入により負担軽減の期待がされる一方で, 新しい業務に対する壁も問題
- 生徒が記入したキャリアパスポートを基にした教員の関わり方の重要性

効果的学びの実現に加え, 校務の業務負担の軽減 を実現させる必要があると言える。

- 校務の業務負担の軽減 → 「どう実現するのか？」

解決策：生徒が記入した文章から重要となり得る部分を分析する機能を付ける事

→ ポジティブ・ネガティブ分析を用いて要点となり得る
ポジティブ(前向き)な部分, ネガティブ(後ろ向き)な部分を可視化する
＝校務の業務負担の軽減 が実現するのではないか？

開発環境

提供側環境

統合開発環境 Visual Studio Code
動作 OS iOS
データベース PostgreSQL
使用言語 HTML, CSS, SQL, JavaScript, Python
WEB アプリケーションフレームワーク Django

ユーザー側環境

WEB アプリケーション

その他環境

Adobe XD

成果物について

WEB 画面



ログイン画面

ホーム画面

キャリアパスポート

行事一覧

職業適性診断

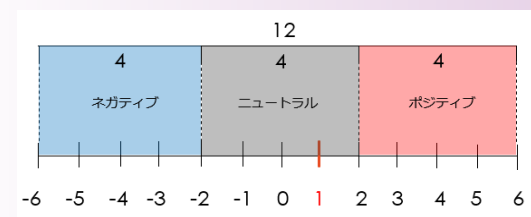
職業適性診断結果

図書紹介

成績入力

ポジティブ・ネガティブ分析

入力されたテキスト → JANOME 形態素解析 → 動詞を原型に直す → 東北大学極性辞書で検索
→ 名詞&用言で検索、ヒットした単語の点数加算 → 動詞の後に否定の連語があれば点数を反転
→ ヒットした数の合計の 2 倍を三分割 (グラフの範囲), 単語の点数の合計値の範囲が結果



ポイント
ネガティブ：-1
ニュートラル：0
ポジティブ：1

【例】 ヒット数：6
6×2=12÷3=4(範囲)
ネガティブ：2回→-2
ニュートラル：1回→0
ポジティブ：3回→3

点数：1 範囲：ニュートラル

チームメンバー

- プロジェクトマネージャー → 小泉悠翔
- プログラム → 池田啓太, 青木翔太, 石倉朋也
- デザイン → 宮島恭平, 三田竜暉